

さわやかな5月



子どもたちの楽しそうな声が薫風にのり、学校中が活気に満ちています。私は毎朝、校門で子どもたちを迎えます。子どもたちが登校し、教職員とともに学校生活を送るこの当たり前の光景が、有難いものであるという思いを日々強くしています。子どもたちが当たり前のように登校してくるのは、それぞれのご家庭の並々ならぬ愛情や励ましがあるおかげです。それだけでなく、「おはよう」「行ってらっしゃい」と声をかけ、安全に登校できるよう見守ってくださる地域の方々のおかげでもあります。

先月、今年度初めての授業参観を行いました。たくさんの保護者の皆様においでいただき、子どもたちの学ぶ様子を見ていただくことができました。そのような中、2年生の担任から、「授業参観の授業の締めくくりに、校長先生が考えている円山小学校のよいところを、子どもたちに語ってください。」という申し入れがありました。私は即答で引き受け、早速、スピーチのメモ作りにとりかかりました。以下、そのメモです。

○円山小学校は「とてもいい学校」、
何がいかというと、学校に関わる人がすばらしい。

・おうちの人がすばらしい

ご飯を作ってくれる、お風呂に入れてくれる、暖かい布団で寝かせてくれる。

学校のお便りの返事を書いてくれる、旗持当番をしてくれる。

時々、遊びに連れて行ってくれる。

皆さんを心から愛してくださっている。

・町の人たちがすばらしい

登下校の時、「おはよう」、「おかえり」と声をかけ、安全を見守

ってくれる。

町探検や体験活動など、学校の勉強を手伝ってくれる。

ごみ拾いや草むしりなど、町をきれいにしてくれる。

町内や子ども会の行事で楽しませてくれる。

・先生がすばらしい

授業や行事の準備を熱心にしてくれる。

困りごとは心から心配してくれる。

チャレンジを一生懸命応援してくれる。

できるようになったことを一杯ほめて、一緒に喜んでくれる。



・子どもがすばらしい

勉強も運動も、できるようになろうと一生懸命がんばる。

先生や家の人のアドバイスを素直に聞いて、よくなろうと努力する。

2年生の児童には少々抽象的な話になってしまったかも知れませんが、自分自身にとって、学校に関わる皆さんの当たり前のように行ってくださる一つ一つの善意ある行動が、本当に有難く尊いものであるとかみしめるよい機会となりました。

学校生活から



4 5 6組 野菜の苗植え



5年 調理実習「お茶をいれよう」



1年 図書室の使い方



3年 自転車教室



2年 野菜の苗植え



4年 クリーンセンター見学